

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表:平成31年3月15日
事業所名 デイサービスACT

保護者等数(児童数)11枚 回収数11枚 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	11					保育士・児童指導員で対応をさせていただきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2				その年により、子どもたちに合わせて保育環境、保育準備を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	11					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			1		児童発達支援ガイドラインが保護者の方へ周知ができていないので、職員も学習し理解度を上げていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	6	1		同一法人内に保育園もあるため、保護者の方のニーズも含め検討していきます。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	10	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	10	1				児童発達支援ガイドラインが保護者の方へ周知ができていないので、職員も学習し理解度を上げる必要があります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	3				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	11					毎朝、登園時に保護者の方と子どもの姿を通して、嬉しいことや困りごとを確認しあっています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9	1		1		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	9	1		1		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	7	1	2	1		定期的に会報や今年度より新しくなったホームページについて保護者の方への周知を徹底していきます。
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	10	1					
非常時 等の	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	7	3		1		

対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9	1		1	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	11				
	23	事業所の支援に満足している	10	1			引き続き満足していただけるように支援を行っていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

デイサービスACT 児童発達支援管理責任者 水野 裕貴

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:平成31年3月15日

アンケート期間:平成31年2月1日～平成31年2月28日

事業所名 デイサービスACT

保護者等数(児童数) 25(27)回収数 18 割合 70%

	チェック項目	はい	ご意見			ご意見を踏まえた対応
			どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18				今年度より新しくなり、活動スペースが広がりました。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	18				今年度より新しくなり、活動スペースが広がりました。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	3			
	5 活動プログラム※iiが固定化しないよう工夫されているか	14	4		外出先がワンパターンでなく、意外な場所へのお出かけはとても良いと思う。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	8	4	あえてそういった機会をつくっているようには感じないが、自然と交流できてるように思う。	保護者の方と子どものニーズを捉えながら、丁寧に検討していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	3			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	8			今年度は縦のつながりづくりと活動記録について2回実施しました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	6			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	4			会報やホームページ等の更新について丁寧に保護者に伝えていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	14	4				
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	11			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	10			
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18				
	18 事業所の支援に満足しているか	18				引き続き満足していただけるように支援していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、
 ※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 3月 13日

公表:平成31年3月15日

事業所名 デイサービスACT

チェック項目	はい	いいえ	工夫している	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
--------	----	-----	--------	--------------------------

環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		今年度より場所が広くなり活動スペースが確保されました。
	2	職員の配置数は適切である	○		規定+αの人材はいるが、子どもの姿・動きからはもっと必要と感ずることもあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレも含めてバリアフリー施設になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページへの掲載に遅れが生じないように検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時に保護者の方と話したり、連絡ノートを通して関係づくりをしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の記録からも読み取りながら、立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子供たちの意見を積極的に取り入れるだけでなく、季節感を大切にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員とパート・アルバイト間は、必ずとは言えない(送迎の関係のため)。そのため、支援開始前の時間で前日のことも含めた打ち合わせを行うようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		丁寧に記録を取っていきます。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインをしっかりと全体に伝えられていない現状にあります。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		今年度は高校卒業生もいるため、保護者の方と連携していきたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近隣の保育所との交流について検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		児童発達支援管理責任者を中心に出席をしています。
保護者への	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は2回縦の保護者の関係づくりと日々の活動報告を丁寧に伝える機会としています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		法人内での参加がある。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			